



シルバーだより

No. 399
令和6年6月1日
荒川シルバー大学
荒川区荒川3-49-1
理事長 箭内忠義
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

— 「人を編む」だ!! —

40周年記念誌編集委員長・副学長 加藤 純成

昨年度、40周年記念誌を作成していて、最後の仕上げに「念校」をするよ…と小磯さんに言われました。小磯さんは、印刷の会社と連絡をしてくれる方です。「最後に、念のために校正する」…ので「念校」です。私は初めて「念校」という日本語を知りました。

その後、NHKのドラマ「舟を編む」を見ました。池田エライザ・野田洋次郎のドラマです。何気なく見ていたら、「念校…念々校…念々々校」まで出てきました。同じ本を作る仕事で、この言葉が出てきたので、私は、うれしくなりました。まるで同じ志の仲間になったような…そうか、辞書を作るまでには、そこまで念を入れて校正するんだ…それに比べて、こちらは「初校+再校+三校+念校1回」です。でも、同じ本を作る仲間です。

「舟を編む」は、「三浦しをん」著の「辞書作りの本」でした。私は一度も、この本を読んだことはありません。役員会の資料の印刷を、水越編集長に頼んだときは、「三浦しおん」と書いて、「これは、「を」じゃないですか」と注意されたくらいです。水越編集長さんには、記念誌委員会の会議をする度に、連絡・調整・会場資料準備を全てしていただきました。



とにかく、一度本を読んでみなくては…しかし本屋で探してもありません。そこで、アマゾンで「文庫本」を買いました。2～3日で届き、早速読み始めると、なんと読みやすいことか。まるで、本の中で「字」が踊っているようです。さすがに本屋大賞になった本です。しかし、「念校」の文字は最後まで確認できませんでした。NHKのドラマだけの台詞だったのでしょうか。

私たちの記念誌は、たくさんの方々の思いと、知恵と努力が積み重なりできました。そもそも記念誌を作るお金がない。「0円」から始まり、バザーでは、でんやわんやの大騒ぎで…でも最後には、90万円近いお金をひねり出しました。センターを使っている別のグループとの、大トラブルもどうにか収まり…予期せぬパソコンのトラブルに悩まされたり、校正の「ミスが多い」と指摘されたこともありました。「40」の人文字も「ほんとに人が集まるのか?」「天気は大丈夫か?」と心配の連続で…。記念誌は、2月28日に完成・納入、そして皆さんに配布されました。「辞書作り」は、舟を編む…か。それなら、私たちは、「人を編む」だな…と思った次第です。

●令和5年度 閉講・卒業式 : 3月18日 サンパール荒川小ホール

5年間の学習を無事終了し、卒業された皆様おめでとうございます。さらに、10年間学習を継続され奨励賞を受賞されました皆様、20年間学習を継続され学長賞を受賞された皆様、及び感謝状を受賞されました皆様、おめでとうございます。

卒業生・奨励賞・学長賞・感謝状受賞者のお名前を掲載いたします。

各受賞者氏名（敬称略）

🌸 卒業生 45名

鈴木澄子・宮澤よし子・花上和夫・安藤享子・谷光子・岡野和郎
山内シゲ・中野恵美子・望月恵美子・村上敬子・後藤田昭子・山本澄子
坂本俊茂・井上登志子・栗原晶子・曾根幸子・小林雅子・亀和田眞理
安島芳子・沖野美代子・大庭篤則・木内忠行・木内みえ子・佐藤竜司
前田久代・細木悦子・田村直子・齋藤和子・南川みき・倉林靖子
田口末子・猪瀬芳江・小島千恵子・小平トシ子・三ノ輪町子・千田実千代
棚田久美子・茂路きみ子・西山カネ子・栗田京子・竹林謙二・吉原皓代
市村豊子・吉田誠子・村上ちえ子

🌸 奨励賞受賞者 23名

安部八千代・横田利子・丸橋浩子・馬場隆子・代田 篤・牧村マツ子
西澤晴代・鈴木正子・鯨井孝治・大内智恵子・林陽子・小林敏正
石川ふさ子・工藤克子・佐久間敬子・太田妙子・山本チエ子・清水若子
岡本千枝子・小泉俊雄・高橋信子・倉澤順子・大塚秀夫

🌸 学長賞受賞者 9名

鈴木みち子・隅田照子・四方田節子・両角美子・山田紀子・嶋戸由美子
浅香愛子・徳岡喜代子・小橋美智子

🌸 感謝状受賞者 7名

岡田芳子(前理事長)・石崎恵子(前折り紙・絵本教室講師)
高橋建司(前社会科見学教室講師他)・長 照美(前自然と小さな旅教室助手)
伊東千代子(前南千住地区長)・増山美代子(前教室代表長他)
榎本節子(前事務局室長補佐)





謝 辞

日ごとに温かさを増し春がやって参りました。

早いもので入学しましてからいつの間にか十年がたちました。

今年度は、シルバー大学開講四十周年の様々な記念行事に参加して、充実した一年を過ごしました。

いろいろな教室で学習ができるのも、沢山の方々と交流ができるのも、シルバー大学という組織を作り、維持して来られた理事長さんをはじめとする諸先生方のお陰です。

心から感謝を申し上げます。

これからもよろしくお願いいたします。

今日は奨励賞を戴き有難う御座いました。

令和六年三月十八日

荒川シルバー大学

第三十一回 十年生 二十三名

代表 四班 安部八千代

《《 40周年記念誌が完成して 》》

最初の正直な気持ちは、エッ！もう40周年。35周年終了して5年経ったの！？イヤだなあ～！と思った。

ところが、終了してみると、記念誌は素晴らしい仕上がりで、挙句に無料配布、と良いことづくめ。そして、一頁一頁ゆっくり完読。諸先生方のお言葉、区役所関係の方々の祝辞は勿論のこと、教室代表や学生の前向きな姿勢に圧倒されました。


今回、加藤純成副学長と水越絹代広報部長が中心となり、出版制作会社の小磯紀子さんの手助けがあり、カット挿入全般を一手に引き受けて下さった石崎恵子先生、大盛況だったバザーで大活躍して下さった高橋建司先生・高橋武三先生。アンケート集計の望月利一先生とパソコンの優秀な大塚由紀子さん、小橋美智子さんが加わってくれて頼もしい限り、35周年からの5年間の沿革や教室変遷・年間行事などを作成下さった田原弘子事務局室長にもお世話になりました。

編集会議での活発な意見交換、各教室の方々による教室紹介ページの作成など、多くの方々の協力のお陰で無事終了し、学ぶことの多い記念誌作りでした。

記念誌は後世に残ります。今は、自分の子供が産まれたような気持ちです。皆様のお力添えに感謝致します。ありがとうございました。

(広報部 市川 弘美)

6 月 の 行 事 予 定

21日 (金)	令和6年 第二回合同講義
	<p>①映画上映「医師中村哲の仕事・働くということ」</p> <p>アフガニスタンで1984年に医療支援をスタートし、干ばつ対策用の用水路建設、農村復興へと活動を広げ、その歩みは35年に及んだ。荒れ果てた大地は蘇り、農作物は実り、65万人の生活を支えている。2019年テロにより無念の死を遂げたが、彼は生き続けている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="width: 60%;"> <p>「長期にわたって密着したこの画像の中に」</p> </div> <div style="width: 30%; text-align: right;">  </div> </div> <p>②講演「世界に視野を広げ、私たち地域を考える」</p> <p style="text-align: center;">日本ワーカーズコープ名誉理事 永戸祐三</p>
	<p>会場：サンパール荒川 3F 小ホール 時間：午後2時より</p>

◆◆◆◆◆ 学 園 日 誌 (5月) ◆◆◆◆◆

<p>2日 会計監査</p> <p>8日 常任委員会・役員会</p> <p>17日 会計・三役打ち合わせ</p> <p>20日 第一回合同講義</p> <p style="padding-left: 20px;">①「荒川区の安全安心と高齢者福祉について」</p> <p style="padding-left: 20px;">講師：生活安全課長：池杉成弘</p> <p style="padding-left: 20px;">講師：福祉推進課長：後藤 誠</p>	<p>20日 ②のこぎりサウンド演奏</p> <p style="padding-left: 20px;">演奏：のこぎりキング下田 (下田尚保)</p> <p>21日 広報委員会</p> <p>27日 学校要覧作成</p> <p>29日 シルバーだより 399号作成</p> <p>31日 高年者クラブ令和6年通常総会</p> <p style="padding-left: 20px;">出席：箭内忠義理事長</p>
--	--

※事務局だより※

雨の晴れ間に、生き生きとした植物の葉っぱを見るのが好きです。センター工事のため、一年間、アクト21 やさつき会館等に会場の変更を要した皆様が、慣れない道の日をご無事に通学できますよう祈ります。

◎冷房使用について

暑くなります。冷房使用の際は、こまめな温度設定を心がけましょう。学習・講座の終了後は、以下の項目を必ずご確認お願い致します。

- ① 冷房のスイッチ ②忘れ物 ③戸締り ④ごみは持ち帰り など。



(事務所) TEL3801-5740 FAX3801-5691

(ホームページ) <http://www.arakawa-silver.com/>

室長：田原